

自然教育園のボランティア制度の導入と 研修について

はじめに

国立科学博物館のボランティア制度の発足は30年以上前まで遡り、1985年国立科学博物館友の会会員を対象に『国立科学博物館ニュース』により募集を行い、1986年1月、8名の志願者により教育ボランティアが導入された。教育ボランティアの活動範囲は、時代に合わせて変化し、2014年に「教育ボランティア」から「かはくボランティア」へ名称変更になり、上野地区及び白金台地区での活動が行われてきた。

白金台地区の自然教育園（以下自然園）では、正規のボランティア制度ではなく、2008年～2009年にかけて、上野地区に所属している「教育ボランティア」28名を対象に38回の勉強会を行うことにより、自然園において園内案内や工作指導補助を行ってきた。しかし、活動人数の不足により、十分な団体対応が困難になってきていることが課題として挙げられていた。そこで、自然園においては、活動目標を「学校団体（特に小学校）への園内案内、児童・生徒を対象とした学習支援活動を主体的に行うこと」とし、独自に研修を実施し、ボランティア活動を担える人材を育成していく運びとなった。

自然園は、季節によって観察できるものが変化する。そのため、来園者に自然園の魅力を伝えるためには、四季を通じた研修が必要である。学校団体と、より連携を図るためには、伝える側が自然園や自然について知ることはもちろん、学校や児童・生徒を知る必要がある。そのため、「自然教育園を知る」「自然を知る」「相手を知る」の観点から研修内容を構成し、一般公募から選抜した自然園ボランティア候補者に対し、2017年12月から2018年11月にかけて、約1年間（24日間計48回）の専門研修を行った。また、2019年4月からの活動開始を目指し、2018年12月から2019年3月にかけて、園内案内・工作教室等に実際に補助に入る実践研修を実施した。

国立科学博物館附属自然教育園におけるボランティア制度概要

○名称

国立科学博物館自然園ボランティア

○活動目標

学校団体（特に小学校）への園内案内、生徒・児童を対象とした学習支援活動を主体的に行うこと。

○活動場所

主たる活動の場所は、自然園とする。ただし、自然園外にて実施する学習支援活動に協力する場合は、自然園が指示する場所とする。

○活動方法と活動内容

自然園が日時を指定して募集する以下の活動に応募して活動する。

活動内容

- ・入園者に対する園内案内。
- ・児童・生徒を対象とした学習支援活動（主に工作）の指導補助、準備。
- ・職員等が行う学習支援活動の補助。
- ・その他園内活動の補助。

○活動回数

原則年間10回程度。

○活動時間

特に規定はしない（概ねの活動時間：園内案内、工作指導・補助等、1時間程度）。

○登録人数

42名（2019年4月現在）

○待遇

- ・交通費支給（上限2,000円）。
- ・活動時間が6時間を超えた場合、昼食代（500円）支給。
- ・昼の休憩時間（1時間）は活動時間に含めない。

○年齢制限

設けない。

○任期制

5年任期で1回更新可（最長10年）。

募集から選考までの流れ及び選考結果

2017年9月～10月の間、ホームページに募集告知を掲載して一般公募し、書類選考・面談を行った。69名の応募者について、「書類選考」「個別面談」により43名を選抜した。

○募集説明会（既に自然園で活動しているかはくボランティア対象）

上記対象者に対し、改めて自然園ボランティア制度の導入及び、選考、研修について説明を行った。

日時：2017年9月6日（水）10時～11時

参加人数：17名

（当日参加できなかった9名のボランティアは、下記9月23日の説明会に参加。）

○募集説明会（一般希望者対象）

上記対象者に対し、自然園ボランティア制度の概要及び、選考、研修について説明を行った。

期日：2017年9月23日（土）

時間：第1回10時～、第2回13時～、第3回15時～（各回45分程度）

参加人数：計28名

参加者年代：10代1名、20代0名、30代1名、40代2名、50代6名、60代12名、70代6名、80代以上0名

○募集・応募

約1ヶ月間国立科学博物館ホームページ等で募集告知を行い、69件の応募があった。

募集期間：2017年9月27日（水）～10月27日（金）

募集方法：国立科学博物館上野、白金台、筑波地区に募集告知のポスター・チラシを設置，国立科学博物館（上野本館）及び自然園ホームページに掲載，大学パートナーシップ校にメール送信（一部にはチラシを配布），国立科学博物館メールマガジン・Facebook，JECONET（生態学メーリングリスト）に情報掲載。

応募方法：調査書・作文（テーマ「小学校団体に対し，園内を案内する時に気を付けたいことは何ですか」）を郵送にて提出。

応募者人数：69名（内「かはくボランティア」は19名）

応募者年代：10代2名，20代2名，30代2名，40代3名，50代12名，60代35名，70代12名，80代1名

○書類選考

書類選考では，以下の評価の観点をもとに，50名程度を選抜することとした。

評価の観点：「志望動機」「心身の状態（5年間のボランティア活動ができるか）」「文化的活動の経験・実績」「文化的活動に関する資格の有無」「活動可能な曜日（特に学校団体が来園する平日は活動が可能か）」「作文」など。

選考通過者：51名（内「かはくボランティア」は18名）

○個別面談

個別面談は2017年11月に計4日間行い，以下の評価の観点をもとに，40名程度を選抜することとした。

評価の観点：「志望動機」「心身の状態」「文化的活動の経験・実績」「文化的活動に関する資格の有無」「接遇・専門研修（研修に参加することは可能か）」「活動可能な曜日」「積極性」「自然園ボランティアの活動主旨を理解しているか」「コミュニケーション能力」など。

選考通過者：43名（内「かはくボランティア」は16名）

参加者年代：59歳（10代2名，20代1名，30代1名，40代4名，50代8名，60代24名，70代3名）

研 修

2017年12月から2018年11月にかけて，「接遇研修」と約1年間（24日間計48回）の「専門研修」及び，2018年12月から2019年3月にかけて，園内案内・工作等に実際に補助で入る「実践研修」を実施し，2019年4月からの活動開始を目指した。

○接遇研修

来園者に対するマナーを学ぶと共に，コミュニケーションスキルに関する研修を実施した。

テーマ：「接遇マナーの基本」「傾聴力とコミュニケーション」「来園者対応の実践」

担当：株式会社フォーブレイン（2014年かはくボランティア接遇研修担当）

日程：2017年12月16日（土）

対象者：新規採用のボランティア（かはくボランティア除く）

○専門研修

園内案内及び工作の指導を主体的に行うスキル習得のため、1年間の研修を実施した。

「自然教育園を知る」「自然を知る」「相手を知る（コミュニケーションスキルを含む）」のテーマ毎に研修を設定した。平均出席率は約88%と、高い出席率となった。

日程：2017年12月～2018年11月 月2回（水曜日・土曜日）合計48回

担当講師：自然園職員（名誉研究員を含む）7名、国立科学博物館研究員7名、元国立科学博物館研究員（元自然園所属を含む）3名、博物館職員（他館）2名、大学教員3名、文部科学省職員1名、企業関係者1名、かはくボランティア6名（園内案内指導を担当）

研修内容		研修目的	実施回数 (重複含む)
自然教育園を知る	園内案内研修	季節に応じた園内の見所や注意事項を知る	12回
	維持管理	園内の維持管理手法を知る	2回
	工作実演・準備	園内の自然物と関連した工作やその準備を知る	8回
	園概要 (主に天然記念物について)	園の概要・特徴について知る	1回
自然を知る	動植物講義・観察	園内で観察できる動植物の生態を知る	13回
相手を知る	学習指導要領研修	小学生が理科の授業で習う内容を知る	4回
	近隣小学校の授業内容に関する研修	来園回数が多い小学校の理科の授業内容を知る	1回
	インタープリテーション研修	相手に合わせた伝え方を知る	3回
	接遇研修	来園者に対するマナーやコミュニケーションの回り方について知る	1回
その他	園内案内用教材修繕	現在の園内案内で使用している教材について、情報更新と修繕を行う	4回

○平均出席率

接遇研修と専門研修は水曜日と土曜日に行った。全研修48回あり（一部全員参加でないものもある）平均出席率約88%となっており、高い出席率となった。その一方で研修の半分程度しか参加できなかった者が3名おり、学生と仕事従事者であった。今後、学生や仕事従事者等幅広い年齢層も参加し易い研修の仕組みやボランティア活動の内容を検討する必要がある。

○実践研修

2018年12月～2019年3月までを実践研修期間とし、研修ボランティアとしてかはくボランティアの補助（園内案内補助、工作補助、学習支援活動補助等）を行い、これまでの研修で学んだことを実践的にアウトプットする機会を設けた。また、「シュロ0大作戦」と称してシュロ除去の補助作業を行うことで（当園報の「飛地におけるシュロ実験区の設置」を参照）、当園が行っている調査研究についても理解を深める機会を設けた。

○研修振返りの仕組み

研修参加者には、毎回「研修振り返りシート」に、「研修の中で初めて分かったこと」、「印象に残ったこと」、「今後のボランティア活動に活かしたいこと」などを記述させた。振り返りシートは、研修初日に全員に配布したファイルに、研修資料と併せて綴じることで、いつでも自身の研修を振り返ることができるようにした。また、季節毎の研修が終わった時点で、「季節の振り返りシート」に、「その季節の研修の中で最も印象に残ったこと」、「研修を通じて実際に調べたこと」等を記述させ、職員が確認後、返却した。季節毎の振り返りでは、研修で対象とした動植物の生態について初めて知ったこと、園内案内を行う際に相手に合った情報を伝える難しさ、学習支援活動参加者がどんなことを学びに来園しているかを知ることの重要性等が記述されていた。

今後の展望について

現在は、園内案内、工作指導・補助、学習支援活動補助等が活動の中心となっているが、今後は、除草などの維持管理の現場における活動機会を設けることも検討を進める。

また、前述したように、自然園では季節によって観察できるものが変化するため、本ボランティア研修では約1年間という長期に渡る研修を実施した。その際、自然園には現在専任の研究員がいないため、国立科学博物館内外の有識者の協力のもと、研修を行った。自然園ボランティアの活動任期は5年間のため、5年後に改めて募集した新規ボランティアに対し、研修を実施する必要がある。しかし、今回のような長期に渡る研修の実施は講師確保や予算面からも難しい。今回の研修について映像記録を残しており、それらを活用してボランティア自身で研修の振り返りができるようにする。また、これから活動するボランティアが5年後は新規ボランティアを育成する側に立つなど、ボランティア同士で研修を行える環境を整えることが今後重要である。

最後に、自然園ボランティア制度の導入と研修にご尽力いただいた、館内・館外の方々に厚く御礼を申し上げる。

附属自然教育園 田邊玲奈

(参考)

専門研修の詳細

2017年度 計14回

月日	時間・内容	講師
1.10 (水)	10:00 - 12:00 専門研修のねらいと自然教育園の概要説明	附属自然教育園 小川 義和・所 真次・遠藤 拓洋
	13:00 - 15:00 冬の園内案内体験	名誉研究員 矢野 亮
1.13 (土)	10:00 - 12:00 都市域で見られる鳥類について	動物研究部 西海 功
	13:00 - 15:00 園内の維持管理について	附属自然教育園 遠藤 拓洋
1.24 (水)	10:00 - 12:00 小学校理科学習指導要領の概要説明	国立教育政策研究所 鳴川 哲也 教科調査官
	13:00 - 15:00 園内案内用パネル修繕検討会	附属自然教育園 丸山 瑛奈
2. 7 (水)	10:00 - 12:00 サイエンスコミュニケーションについて	附属自然教育園 小川 義和
	13:00 - 15:00 園内の樹木に関する講義と観察	東京農工大学 福嶋 司 名誉教授
2.24 (土)	10:00 - 12:00 工作(体験):おもしろ昆虫作り	名誉研究員 矢野 亮
	13:00 - 15:00 園内案内用ワークシート作成検討会	附属自然教育園 丸山 瑛奈
3. 7 (水)	10:00 - 12:00 工作(準備):おもしろ昆虫作り	名誉研究員 矢野 亮
	13:00 - 15:00 初春の園内案内体験	かはくボランティア
3.24 (土)	10:00 - 12:00 園内で見られる鳥類に関する講義と観察	動物研究部 濱尾 章二
	13:00 - 15:00 小学校理科学習指導要領と園内案内	大妻女子大学 石井 雅幸 教授

2018年度 計 32回

月日	時間・内容	講師
4. 4 (水)	10:00 - 12:00 博物館のファシリテーションに関する研修	東京国立近代美術館 一條 彰子 主任研究員
	14:00 - 16:00 顕花植物に関する講義と観察	植物研究部 秋山 忍
4.14 (土)	10:00 - 12:00 園内案内：自然観察指導者研修（春）	名誉研究員 矢野 亮
	13:00 - 15:00 ハチに関する講義と観察	動物研究部 井手 竜也
5.16 (水)	10:00 - 12:00 工作：飛ぶ種のふしぎ（体験）	名誉研究員 矢野 亮
	13:00 - 15:00 工作：飛ぶ種のふしぎ（準備）	名誉研究員 矢野 亮
5.26 (土)	10:00 - 12:00 初夏の園内案内実践・振り返り	かはくボランティア
	13:00 - 15:00 園内の樹木調査等に関する講義	名誉研究員 萩原 信介
6. 6 (水)	10:00 - 12:00 多様な有用植物に関する講義と観察	名誉研究員 小西 達夫
	13:00 - 15:00 野外でのインタープリテーションに関する研修	千葉県立中央博物館 林 浩二 上席研究員
6.16 (土)	10:00 - 12:00 小学校理科学習指導要領と園内案内（実践編）	大妻女子大学 石井 雅幸 教授
	13:00 - 15:00 水辺の生き物（両生爬虫類を含む）に関する講義と観察	分子生物多様性研究資料センター 吉川 夏彦
7.11 (水)	10:00 - 12:00 園内の植物に関する研修	附属自然教育園 下田 彰子
	13:00 - 15:00 工作（体験）：クルクルトンボ作り	名誉研究員 矢野 亮
7.21 (土)	10:00 - 12:00 トンボに関する講義と観察	動物研究部 清 拓哉
	13:00 - 15:00 工作（準備）：クルクルトンボ作り	名誉研究員 矢野 亮
8.11 (土)	10:00 - 12:00 園内案内：自然観察指導者研修（夏）	名誉研究員 矢野 亮
	13:00 - 15:00 夏の園内案内体験	かはくボランティア
8.29 (水)	10:00 - 12:00 近隣小学校の授業内容に関する講義	元港区立白金小学校 篠崎 潤一 前経営主幹・理科主任
	13:00 - 15:00 夏の園内案内実践・振り返り	かはくボランティア
9.12 (水)	10:00 - 12:00 チョウに関する講義と観察	動物研究部 神保 宇嗣
	13:00 - 15:00 園内案内の学習用ワークシート作成検討会	附属自然教育園 丸山 瑛奈
9.22 (土)	10:00 - 12:00 カメムシの仲間に関する講義と観察	名誉研究員 友国 雅章
	13:00 - 15:00 園内案内用パネル修繕検討会	附属自然教育園 丸山 瑛奈
10.20 (土)	10:00 - 12:00 園内案内：自然観察指導者研修（秋）	名誉研究員 矢野 亮
	13:00 - 15:00 小学校理科学習指導要領と園内案内（実践編）	大妻女子大学 石井 雅幸 教授
10.31 (水)	10:00 - 12:00 園内の維持管理について	附属自然教育園 大澤 陽一郎・奥津 励・遠藤 拓洋
	13:00 - 15:00 秋の園内案内体験	かはくボランティア
11. 7 (水)	10:00 - 12:00 工作（体験）：クリスマスリース・ツリー作り	名誉研究員 矢野 亮
	13:00 - 15:00 秋の園内案内実践・振り返り	かはくボランティア
11.17 (土)	10:00 - 12:00 工作（準備）：クリスマスリース・ツリー作り	名誉研究員 矢野 亮
	13:00 - 15:00 外来種に関する研修	東邦大学 長谷川 雅美 教授



図1 園内の樹木に関する研修



図2 博物館のファシリテーションに関する研修



図3 初夏の園内案内実践・振り返り



図4 水辺の生き物に関する研修



図5 園内の植物に関する研修



図6 工作(準備):クルクルトンボ作り



図7 園内案内：自然観察指導者研修（夏）



図8 夏の園内案内実践・振り返り



図9 小学校理科学習指導要領の講義



図10 園内の維持管理作業



図11 工作（体験）：クリスマスリース作り



図12 完成して集合写真